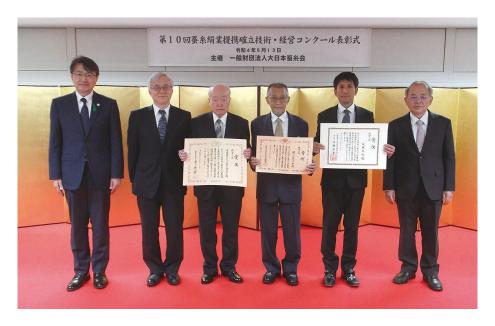
No. 74 >>> Contents

第 10 回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要	要
農林水産大臣賞受賞者は、宮坂製糸シルク工房の会(統括)に決定	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ー般財団法人大日本蚕糸会―――	- 0
●トピックス	
東京でも養蚕しています! ―東京シルク―	
・・・・・・・・・・多摩シルクライフ 21 研究会 代表 内海康治―――	- 4
●研究・技術情報	
「結合の手」をもつクリッカブルシルクの実用生産に向けた取り組み	
・・・・・・・・・・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	
グループ長補佐 寺本英敏	
上級研究員 伊賀正年———	6
超極細繊度で染色性に優れたシルク(麗明)の実用化に向けて	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・全国シルクビジネス協議会───	- 9
●蚕糸・絹業団体情報	
「一般社団法人富岡シルク推進機構の紹介(活動)」	
・・・・・・・・・・(一社)富岡シルク推進機構 事務局長 長谷川直純―――	- 0
●蚕糸偉人の足跡を訪ねる	
第 1 回「渋沢栄一」	
・・・・(一財)大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 元客員研究員 清水重人───	- B
●イベント情報	- 1
	v
●一般財団法人大日本蚕糸会から	
令和4年度貞明皇后研究助成採択一覧(7件)————————————————————————————————————	- 22
2022 年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――	- 25
純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧	- 2
活動日誌 ————————————————————————————————————	34
●蚕糸絹関係博物館一覧 ——————	- 35
●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧 ――――	- 38
●統計資料 (統計資料の詳細は統計資料目次をご覧下さい。) ————————————————————————————————————	– 40

第 10 回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール受賞者の概要

農林水産大臣賞受賞者は、宮坂製糸シルク工房の会(統括)に決定

一般財団法人大日本蚕糸会



左から平形雄策農林水産省農産局長、内藤邦男会頭、宮坂照彦氏(宮坂製糸シルク工房の会)、 秋山眞和氏(綾の小石丸の会)、佐藤卓也氏、町井博明審査委員長

第10回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールへの出品数は、提携グループが2点、養蚕農家が28点、農家団体が1点、計31点であった。

審査については、新型コロナウイルスの 影響による「まん延防止等重点措置」が3 月に解除され、3年ぶりに対面式の審査会 を開催。審査の結果、農林水産大臣賞1点、 農林水産省農産局長賞1点及び大日本蚕糸 会会頭賞2点が選定され、また、今回は第 10回目の節目となるコンクールを記念し、 大日本蚕糸会特別賞2点が選定された。 5月13日(金)、東京都千代田区有楽町 の蚕糸会館で受賞者及び関係者が出席し表 彰式が行われた。

農林水産大臣賞

宮坂製糸シルク工房の会 (統括) (長野県岡谷市)

宮坂製糸シルク工房の会(統括)は、長野県下を中心に生産された繭を扱う宮坂製糸シルク工房の会、千葉県下の繭を扱う千葉県ブランド繭推進協議会及び東京多摩地区で生産された繭を扱う東京シルクの会の

3 グループから構成され、構成養蚕農家数 14 戸で繭 2,720kg を生産している。

この3グループを取りまとめる株式会社 宮坂製糸所は、通常の自動繰糸生糸から太 繊度・細繊度生糸、玉糸、トルネード糸等 の特殊生糸、上州式、諏訪式による座繰り 生糸、古代繭等の特殊蚕品種(松岡姫、白 繭細、青熟、小石丸、ぐんま細)の生糸な ど多様な生糸を繰糸する技術を有してお り、年間約600kgの生糸を生産し、小ロット生糸の生産にも対応するなど実需者の 用途に応じた生糸生産を行い、経営の安定 化に努めている。

また、宮坂製糸所は、平成26年8月に 岡谷市立蚕糸博物館内に移転、併設され "動く展示施設"として見学者対応も積極的 に果たし、シルクに対する啓蒙活動の役割 を担っている。生糸生産以外にもシルク入 り石鹸等シルクを活用した様々な製品を開 発、作製し、博物館の売店等での販売を通 して、収入の増加及び経営の安定化に寄与 している。このように、多様なニーズの開 拓に努めている。

農林水産省農産局長賞 綾の小石丸の会

(宮崎県東諸県郡綾町)

綾の小石丸の会は、現代の名工・秋山 眞和氏を中心に、養蚕から染織までの一貫 した工程を手仕事で担う綾の手紬染織工房 (株式会社綾の手)での活動と連携した取 り組みを行っている。同会には、養蚕農家 2戸が入っており、小石丸の繭 185kg が 生産されている。

綾の小石丸の会では、蚕品種小石丸の生 糸が染色性に優れていることを早くから見 出し、特に藍染め、草木染め、貝紫染めを 行った高品質の着物やショール等の製品を 製造・販売している。これらの製品は、銀 座和光、日本橋三越本店、東京や京都のギ ャラリーでの個展や、全国各地の百貨店で 展示販売され、高い評価を受けるとともに 多くのリピーターを獲得している。また、 綾町のふるさと納税の返礼品として小石丸 の繭玉が利用されるなど新たな取り組みも 行われている。さらに、来場者へは桑園や 飼育施設を案内し、養蚕への理解を深めて もらうとともに、写真や動画、工房の SNS アカウントを通じて、養蚕からの織物づく りまでの工程を多くの世代に知ってもらう 努力を重ねている。

綾の小石丸の会は、蚕糸・絹業提携グループの中で唯一、支援事業による補助金助成を受けない自立型のグループでもあり、その技術力と事業化、販売力が高い。

大日本蚕糸会会頭賞 養蚕農家 佐藤卓也氏 (福島県伊達郡川俣町)

佐藤氏は、養蚕(29%)、シャモ飼養(38%)、小菊(31%)等の生産を組み合わせたバランスの取れた複合経営農家で、養蚕については、令和3年度は年4回の飼育を行い、繭生産は1,034kgで高品質の真綿用の繭生産を行っている。

佐藤氏は、令和元年に逝去された父の意

志を継ぎ、採桑時間の短縮と作業効率化のため、桑園を専用桑園化し条桑刈取機により、収穫時間の短縮と効率化をはかり、採桑作業の省力化に取り組み、良質の桑葉を確保するとともに、提携グループの仲間とともに増産に取り組み、継承後、毎年1tを超える繭を生産し、真綿繭出荷者全戸と真綿協会関係者立会での、全袋を共同選繭して出荷している。

また、佐藤氏は地域の中心的な役割を担い、地域活性化に大きく貢献しており、若手養蚕農家として今後の更なる活躍が期待される。

大日本蚕糸会会頭賞 養蚕農家 松井 喬・節子夫妻 (群馬県前橋市)

松井夫妻は、繭生産 636kg、蚕期 4 回で、 繭収入の割合が粗収入の 95%を占める養 蚕主業農家であるが、地元協議会役員とし て地域の中心となり、稚蚕共同飼育所副主 任として稚蚕期から飼育に携わり、蚕品種 の特性等の把握に努めるなど、優良繭生産 に非常に積極的に取り組んでいる。

また、松井夫妻は遺伝子組換えカイコの 飼育にも取り組み、これまでに緑色蛍光遺 伝子組換えカイコや超極細繊度の遺伝子組 換えカイコを飼育してきた。また、冬期間 には、稚蚕共同飼育所を利用した企業向け の遺伝子組換えカイコの飼育にも取り組ん でいる。これらは同夫妻の蚕飼育の技術力 の高さを実証している。

大日本蚕糸会特別賞

養蚕農家 阿曽一良・ゆき子夫妻 (山形県飽海郡遊佐町) 養蚕農家 酒井英樹・しずえ夫妻 (群馬県高崎市)

阿曽夫妻並びに酒井夫妻については、第 1回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクールから連続10年間、出品財の推薦を受け、 この間の地域における養蚕業への真摯な取り組みや本コンクールへの貢献は多大である。

東京でも養蚕しています! ―東京シルク―

多摩シルクライフ 21 研究会

代表 内海康治

え!まだ!東京で養蚕をやっているの! お客様にいつも驚かれます。そして現在 絹の国内自給率は 0.2%ほどしかないとさらに。今年 4 月より多摩シルクライフ 21 研究会(以下多摩シルク)の代表を、小此木エツ子先生より引き継ぎました内海と申します。諸先輩方々には到底及びませんが、日本文化としての蚕糸絹業がこの東京でまだ行われていることを、それを大切にしている人たちの「手しごと」を、これからも丁寧に伝えていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

私は東京世田谷で明治 43 年創業の呉服屋の3代目ですが、多摩シルクと出会うまで繭や糸のことなどほとんど知りませんでした。(呉服屋は生地からしか扱わないもので)

多摩シルクに入会したきっかけは、絹の 自由化が決まった平成9年(1995)に店 内で行った「蚕飼育展」で、思いがけず多 くのマスコミの取材があり、その取材を通 して呉服屋も世の中のお役に立っているこ とを実感したからでした。

多摩シルクライフ 21 研究会とは

当会は小此木先生の経験と見識・技術、 そして絶えることのない情熱が求心力となって、平成7年に東京に残っていた17軒 の養蚕農家を応援するために、東京多摩地域の染織家をはじめ養蚕や絹に興味のある 一般の方々が集まって作られた団体と聞い ております。

小此木先生は、東京農工大学工学部で製 糸の研究について長年教鞭をとられ、現在 も日本の絹、東京のシルクを愛され、その 振興に70余年尽力されています。良い糸と は何か?モノづくりに求められる糸とは? 実際に染織家が使ってみるという試行錯誤 を養蚕の段階から研究されて27年。私の ようなものには到底引き継ぐことのできな いものですが、この活動を「伝える」こと でお手伝いできればと思っております。

現在の会の状況は

会員数は 40 名ほどですが染織に関わる様々な専門家の方が多いです。例年 4 月頃に総会を開き、年間の計画や報告をしております。近年、初期の方々が高齢などのため退会され、国産のシルクに興味を持っている方と入れ替わりの時期になっております。コロナの影響もあって、SNS などを通じて情報発信したり、ZOOM を利用して会合を開いたりしております。年配の会員が、ZOOM やスマホでメールや LINE を上手に使いこなされています。

本年度の活動は

本年より八王子市との連携で、市の所有する絹の道資料館を中心に活動を始めています。こちらの資料館は絹製品の集散地八王子から海外へ輸出する横浜の港をつないだ旧街道(絹の道)沿いの養蚕農家の跡地に建てられました。毎月数回、養蚕農家の方も参加して機織りや真綿づくりなどを通じて、広く一般の方にも公開しております。

さらに有楽町の蚕糸会館ジャパンシルクセンターでの実演を交えた展示販売会も本年秋に開催し、日本文化としてのシルクの素晴らしさを体験を通じて伝えていきたいと計画しております。

現在の養蚕の状況は

一昨年から八王子の長田養蚕1軒となってしまいましたが、若いご夫婦二人で春蚕、晩秋蚕の2期で、生繭約120kgを出荷しています。卵は長野県松本の高原社にお願いし桑育で稚蚕から育てております。ほとんどの農家が人工飼料による稚蚕飼育所に任せている中で、大変手間のかかるやり方ですが、例年丈夫で大きな良い繭を作ってくれます。



選繭



絹の道資料館

その他の活動

長田ご夫妻は、そのほか地域への文化活動も以前から行っています。ご主人は東京の小学校を中心に蚕の卵の無料配布や、地元の小中学校への出張授業、道の駅八王子滝川で手作りのシルク製品を販売されたり、独自のアイデアで地域に発信をされています。また奥様は事業の代表として、他の会員とともに絹の道資料館での活動を行っていきます。

新体制で、東京ならではの演出とアイデアで、東京シルクを盛り上げていきたいと考えております。なにかアドバイスいただけましたら、幸甚に存じます。

■連絡先:

多摩シルクライフ 21 研究会事務局 メールアドレス:info@tokyosilk.jp

電話:03-3482-0039 きもの千歳屋内

「結合の手」をもつクリッカブルシルクの実用生産に 向けた取り組み

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

グループ長補佐 寺本英敏 上級研究員 伊賀正年

はじめに

これまでに、シルクへ機能を付与する 様々な方法が開発されています。化学反応 を利用して機能分子をシルクへ結合させる 「化学修飾法」はその一つとして長い研究 の歴史があります¹⁾。化学修飾法では結合 させたい機能分子に合わせて適切な化学反 応を選択する必要があり、反応条件の最適 化には豊富な知識と経験が必要です。条件 によってはシルク本来の性質が損なわれて しまう恐れもあります。

私たちは、化学修飾法によるシルクへの機能付与を、誰でも簡単に、かつ、シルク本来の性質を損なうことなく行うことができる新しいシルク素材「クリッカブルシルク」を開発しました²⁾。2020~2021年度にかけて、(一財)大日本蚕糸会・貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成の支援を受けてクリッカブルシルクの実用生産に向けた取り組みを進めてきました。本稿では2年間の取り組みの成果をご紹介します。

シルクの材料(アミノ酸)を変える技術

20年ほど前にカイコの遺伝子組換え技術が日本で開発され、遺伝子配列を変える ことでシルクに機能を付与することができ るようになりました。その代表例がグリー ンやオレンジ色の光を発する蛍光シルクです。この場合、遺伝子という「設計図」を書き換えることで通常とは異なるシルクを作り出しています。一方で、同様の遺伝子組換え技術を利用しつつも、シルクの設計図には手を加えず、代わりにシルクを構成する「材料」を変えることでその性質を変えることができるのではと考えました。

ここでいう材料とは、アミノ酸のことです。シルクをはじめとするタンパク質は、小さなアミノ酸が何百・何千個と連なってできています。設計図にしたがって整然と連なっていく材料の中に、普通は使われないはずの材料をそっと紛れ込ませることができれば、通常とはちょっと違うシルクができるはずです。この普通は使われない材料のことを「人工アミノ酸」と呼んでいます。筆者らの研究によって、シルクの中に人工アミノ酸を紛れ込ませることが実際に可能であることが明らかになりました。ここでは詳細は割愛しますので、ご関心のある方は筆者らの総説

クリッカブルシルクの開発

これまでに試してきた人工アミノ酸の中で最も筆者らの興味を引いたのが、「アジドフェニルアラニン(AzPhe と略す)」という

人工アミノ酸でした。AzPhe は、通常のアミノ酸であるフェニルアラニンに「アジド」という小さな部品(官能基)がくっついたものです。アジドは小さいながらもとても面白い性質があります。特定のペアとなる部品が近くに来ると速やかに反応して安定な結合を作るのです。この反応は、シートベルトのバックル同士がカチッと小気味よいクリック音を立てて簡単につながるさまに例えて「クリック反応」と呼ばれています。

相手方のバックルの先に何がくっついていても問題なく反応は起こります。すなわち、シルクの中にアジドがあれば、そこを起点としたクリック反応によって機能分子を簡単につなげることができるというわけです。それはあたかも機能分子を繋げるための「結合の手」がシルクに生えているようなもので、化学修飾法による機能の付与がとても簡単になりました(図1)。

筆者らは、AzPhe を紛れ込ませたシルクのことを「クリッカブルシルク」と呼んでいます。シルクの中に紛れ込ませた AzPheの量はごく少量ですので、シルクの性質を損なうことはありません。どのような機能分子をつなげる場合でも同一の反応(クリック反応)を利用するため、条件の最適化がとても簡単です。つなげる機能分子にも特段の制限はなく、これまでに、色素を結合させたカラーシルク、導電性高分子を結

合させた導電性シルク、親水性ポリマーを 結合させた細胞接着制御シルク、などを作 出してきました²⁾。

クリッカブルシルクの実用生産に向けた 取り組み

クリッカブルシルクは、糸としてカイコが紡ぎ出した時点ですでにアジドを含んでいるため、特別な操作を行うことなく通常の乾繭・繰糸・撚糸・製織の方法で織物にまで加工することができます。しかし、クリッカブルシルクを産生する遺伝子組換えカイコは小型の実験用品種を元に作られたためにその繭は小さく、繭質も一般的な機械で繰糸を行うには不十分なものでした。

そこで 2020 年度から実用品種との戻し 交雑を 5 世代にわたって実施し、クリッカ ブルシルクの生産量を 2.6 倍に向上させた 改良系統を確立しました。生産量が大幅に 向上した代わりにクリッカブルシルクへの AzPhe の導入量は元系統から約 20% 減少 してしまいましたが、機能分子を結合する 能力をきちんと有しているクリッカブルシ ルクを生産可能なことを確認しました。

2021 年度には改良系統と通常品種とを掛け合わせた F1 系統を用いた 5,000 頭スケールでの試験飼育を(一財)大日本蚕糸会蚕糸科学技術研究所において実施していただき、収穫した繭から約 1kg の生糸を得

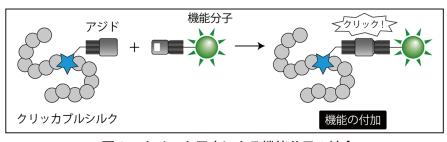


図1 クリック反応による機能分子の結合

ることができました(図2)。繰糸成績(表1)はまだ改善の余地が多くあるものの、ひとまず通常の機械繰糸による生糸の生産が可能になりました。





図2 試験飼育で収穫した繭(左)と繰製した生糸(右)

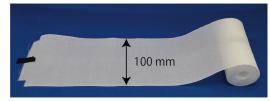
表1 クリッカブルシルク生糸の繰糸成績

解じょ率 (%)	繭糸長 (m)	生糸量歩合(%)	繭糸量 (g)	繭糸繊度 (d)	小節点 (点)
75	643	14.3	0.263	3.77	86.5

*繭 30 個ずつを 3 回ランダムにサンプリングして 繰糸した成績の平均値

その後、製織への適合性を見る目的で 100 mm 幅の平織リボン布を試作しました (図3上)。その際、量的な制限から緯糸の みにクリッカブルシルクを用い、経糸は通 常のシルクを用いました。糸が切れる等の 特段の問題なく製織が可能であることが分 かったため、現在、広幅の反物の試作に向 けた準備を進めています。

最後に、試作したリボン布を用いてクリック反応試験を実施しました。布の一部を切り取ってグリーンの蛍光色素とクリック反応させた後に蛍光顕微鏡で観察したところ、経糸に用いた通常シルクでは蛍光が観察されない一方、緯糸に用いたクリッカブルシルクでは明瞭な蛍光が観察されました(図3下)。この結果から、乾繭・繰糸・撚糸・製織といった通常の加工工程を経てもアジドの反応性がきちんと維持されており、クリック反応による機能付与が可能であることが確認できました。



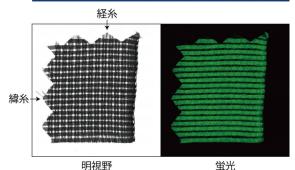


図3 試作したリボン布(上)とクリック反応後の 顕微鏡像(下)

おわりに

本稿では、「結合の手」をもつクリッカブルシルクの開発経緯と、その実用生産に向けた取り組みについてご紹介しました。クリック反応を用いた機能付与は、遺伝子の書き換えによるシルクへの直接的な機能付与と相補的に利用できる新しい技術です。社会実装の実現に向けて民間企業等との連携構築を進めていきたいと考えています。

試験飼育を行って頂きました(一財)大日本蚕糸会蚕糸科学技術研究所の持田上席研究員、池嶋主任研究員らご関係の皆様に厚く御礼を申し上げます。生糸を繰製していただいた株式会社宮坂製糸所、および、リボン布を試作していただいた井上リボン工業株式会社に感謝いたします。その他、これまで研究にご協力いただいた多くの皆様に感謝いたします。

【引用文献】

- 1) 玉田 靖:「シルク利用の新しい展開-バイオマテリアルとしての展望-」. 繊維学会誌(繊維と工業)、71、P-112-P-116、2015.
- 2) 寺本英敏:「カイコの遺伝暗号拡張による非天然アミノ酸含有タンパク質素材の創製」、生化学、93、298-304、2021.

研究•技術情報

超極細繊度で染色性に優れたシルク(麗明)の実用化に向けて

全国シルクビジネス協議会

全国シルクビジネス協議会では、令和3年度に農林水産省の補助を受け、超極細繊度で染色性に優れたシルク(麗明)の実用化に向けた取り組みを行いましたので、その概要を紹介します。

1 麗明の特長

超極細繊度で染色性に優れたシルクを作る蚕品種「麗明」は、国立研究法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)が、細繊度のシルクを作る蚕「はくぎん」を遺伝子組み換え技術を用いて改良した蚕です。

令和3年度に飼育された麗明の繭及び生 糸を蚕糸科学技術研究所で検査した結果は 別表1のとおりです。

2 絹製品の試作

全国シルクビジネス協議会では、群馬県の養蚕農家で飼育された麗明の生糸を碓氷製糸(株)から購入し、麗明の特徴である繭糸繊度の細さや優れた染色特性を活かした絹製品のビジネス化を目指して、ウィッグやマスクインナー、手袋等の製品を開発し、2月にジャパンシルクセンターで試作品の展示会を行いました。

試作した製品は、一般消費者を対象としたホームユーステストで高い評価を得たも

の(マスクインナー)や染色性能の堅牢度 試験において高い堅牢性を示す(ウィッグ) 等ある程度期待通りの性能が得られました が、一方、価格や製品の強度、生産ロット の大きさ等ビジネス化に当たっての課題も 明らかになりました。



展示会の案内

3 生産体制の整備

麗明は遺伝子組み換え技術を用いて品種 改良された蚕品種であることから、一般の 養蚕農家が飼育するには法律(カルタヘナ 法)に基づく様々な制約があり、誰でも自

由に飼育するということはできません。現 状では、飼育ができるのは群馬県の2戸の 養蚕農家に限られています。また、稚蚕の 飼育も一定の基準を満たしたところでない と飼育が認められていません。

麗明シルクのビジネス化を進めるに当たっ て、解決する必要のある大きな課題の一つは、 ロットの大きさの問題があります。ビジネス として成立するためには、必要なロットを提 供できるかが非常に重要となりますが、現状 では、麗明シルクの生産は年間 40kg 程度が 限界で、数百kgのロットを求められると生 産に数年かかることになります。

このため、全国シルクビジネス協議会で は、主要な養蚕産地である群馬県、栃木県 福島県、茨城県、愛媛県で麗明を飼育する ために必要な要件等についての説明会を開 催し、多くの養蚕農家の皆さんに参加して いただきました。

麗明などの遺伝子組み換え蚕の飼育には 蚕室の整備や稚蚕飼育の問題等もあること から、直ちに生産できるシルクの量が増え るわけではありませんが、生産環境の整備 が進んだと考えています。

4 おわりに

今回の事業では、麗明シルクのビジネ ス化に当たっての新たな課題も明らかにな り、ビジネスとして立ち上げるところまで は残念ながら到達しませんでしたが、今回 明らかになった課題については、解決に向 け引き続き取り組むこととしております。 近い将来には関係者の努力により、麗明シ ルクを使用した新たな絹製品の市場ができ ることを期待しています。

全国シルクビジネス協議会は、養蚕農家、 シルク関連事業者及び研究者等の連携体制 の構築等を通じて、シルクの多様な分野で の利用促進を図ることにより、日本産シル クの需要拡大、国内養蚕業の振興及びシル ク関連産業による地域振興に貢献すること を目的とした誰でも自由に参加することが できる団体です。趣旨に賛同される多くの 皆さんに参加していただき、幅広い英知を 集め、シルク産業の発展に寄与できればと 思っています。

(別表1) 麗明の繭質調査および生糸検査

蚕糸科学技術研究所

(繭質検査)

- ・繭の繭糸繊度は 1.62 d であり、3 眠蚕の繭糸繊度(1.5~2.0 d 1)) と同等の極細 蚕品種といえる。
- ・繭の繭糸長および乾繭糸歩については、普通蚕品種と同等の値となっている。
- 繭の解じょ率は66.5%となり、やや低い。

(生糸検査)

・節点(大中節)は98.2点であり、JAS 規格(廃止)によると6A格相当となる。 また、小節点は95.8点となることから、節のない均質な糸といえる。

「一般社団法人富岡シルク推進機構の紹介(活動)」

(一社) 富岡シルク推進機構 _{事務局長} 長谷川直純

一般社団法人富岡シルク推進機構は、令和3年7月1日に設立され、理事長には、養蚕農家である高橋純一氏に就任していただきました。これは、2008年(平成20年)に設立されました「富岡シルクブランド協議会」の事業をすべて受け継ぎ、法人格を有する団体として、新たに生まれた法人です。



「荷受け状況」

当機構の目的は、富岡地域の蚕糸業とシルク産業が連携するシステムを構築し、世界遺産である富岡製糸場を核とした「富岡

シルク」のブランド化を確立することにより、富岡地域の蚕糸業の持続的な発展を図ることを目的としています。

なぜ、「富岡地域の蚕糸業の持続的な発展」が必要なのか、それは世界遺産である富岡製糸場の価値を維持するためです。そもそも富岡製糸場のような産業遺産は、その資産が持つシステムが重要な価値です。このシステムは、養蚕農家で生産された繭が富岡製糸場に運びこまれ、その原料を使い生糸に加工され、出荷されるという一連の流れです。皆さんご存じのように富岡製糸場は、1987年(昭和62年)3月に稼働が停止した状態が続いています。しかし、養蚕は、衰退をしながらも今まで生きているシステムなので、富岡製糸場が世界遺産である限り、養蚕を守り発展させる使命が当機構にあると考えています。

また、当機構は品質にこだわったものづくりが基本にあります。それは、富岡製糸場設立に由来いたします、徳川幕府が開港を認めた当時から生糸は輸出品目の8割を占めていました。右から左に飛ぶように取引されていましたが、粗悪品も横行していたようです。それを是正することが富岡製糸場の役割の1つでもありました。

「良い繭は丈夫な蚕が良い上蔟環境の中で作り、丈夫な蚕は良い飼育環境の中で良い桑を食べて育ち、良い桑は良い土からできる。」が養蚕の基本であります。この実行は、高品質繭=単価の高い繭の増収、すなわち、養蚕所得の増加に直結することはもちろんですが、最も重要なことは、高品質な生産により、高品質な生産により、高品質な生産が可能となり、おり、その結果として、消費者に買ってもらえる魅力ある商品として消費が増大し、当機構の経営が順調に推移することとなり、ひいては、再生産可能な繭代が、安定、かつ、増額する方向となって養蚕農家自身に戻ってくることになるということであります。

当機構の商品は、①環境にも、人にも、 健康にも徹底的にやさしい製品を追求する、②品質における安心と信頼感を提供する、③歴史ある富岡ながら、常に時代性や市場ニーズを捉えた先進の製品を提供する、という3つに集約されると考えています。そのためには、富岡シルクプラチナマークをより発展した形で産地の特別の基準を設けて、分かりやすく表示することが肝要です。

また本年は、富岡製糸場開場 150 年の年に当たります。富岡製糸場は、日本の近代シルク文化を開いた開祖であり、シンボリックな存在であります。その富岡製糸場が2014年、世界遺産の登録を受けたのを機会に、「富岡シルクブランド」として、これまでのシルクに新たな視点を加えた「日本のシルクの象徴」を作りたい。そしてこれ



国宝西置繭所で開催された 「第1回富岡シルク手編みニット展」

を世界に広めることで、結果協業してくださる日本の優れたシルク製品づくりに関わる企業や人々を元気にして、日本のシルク産業を今一度復興させたい。これが富岡シルクブランドのコンセプトであります。

しかし、世界に打って出るといっても、 実際には容易なことではありません。まずは、誰もが認めてくれる、紛れもない日本 の技術ならではの一級品を、製品として作 り上げることが大事です。私たちのこの 試みを、前向きに受けとめて下さり、コ ラボレーションして下さる製糸業に携わる 方々、絹産業に関わる方々、販売チャネル、 店舗や協力製品ブランドの方々と一体とな って、大きな夢の結実に向かって立ち止ま ることなく歩んでいきたいと思います。

蚕糸偉人の足跡を訪ねる

第1回「渋沢栄一」

(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 元客員研究員 清水重人

我が国における蚕糸業 (養蚕業と製糸業) は、明治以降大きな発展を遂げ、日本経済発展の原動力となった。そこには多くの先人達による研究や技術開発そして政策等による努力の積み重ねがあり、近代化の土台となってきた。その業績に対し、大日本蚕糸会では「蚕糸功績賞」を授与しその功績を讃えてきた。本連載では、多くの蚕糸偉人の中から「蚕糸史話編集委員会」として何人かを取り上げ、表彰のよりどころとなる業績内容についてエピソードなどを交えながら紹介する。

第1回は、近代日本経済の父ともいわれ、NHK 大河ドラマで話題となり、新一万円札の顔として注目される「澁澤榮一氏」である(図1)。氏は、大正2年(1913)に「第一種功績賞」、昭和2年(1927)に「恩賜賞」を受賞している。その表彰理由について、大日本蚕糸会報(以下会報とする)第256号(大正3年4月号)及び第424号(昭和2年6月号)(図2)によると、大きく3つの業績が挙げられている。第1は、「富岡製糸場」の設立への尽力である。明治2年(1869)に明治政府の民部省租税正、民部省改正掛掛長兼務となるや、翌年には富岡製糸場設立の事務主任となった。国力増強の一環として、生糸品質向上のため西



図1 澁澤榮一氏(大日本蚕糸会報第36巻 第424号6月号より)

洋式機械繰糸機を導入することとなった が、その設置場所の選定にあたり、各地の 養蚕地帯に出向きその実態を多方面から精 査し、最終的に富岡の地を選定した。また、 その操業により国内の機械製糸普及に繋が ったとしている。氏は大正4年(1915)、 会報臨時増刊号の中で「御大禮と蠶絲業」 を寄稿している。その中で、「当時、明治 政府には蚕糸業の知識経験のあるものは皆 無であった」とし、大隈重信大蔵大輔から の蚕糸業についての種々質問に対し、血洗 島での経験に基づいて詳細に答えたとこ ろ、大隈から「大いに賞賛を博した」と記 している。そして、「技術長たりし佛人ブ リューナその他技術職工等を傭聘するのに も微力を致した」と回顧している。

第2に、第一国立銀行を創設したこと及 びその資金融通により、製糸及び生糸貿易 の進展に寄与したことである。明治14年 (1881)、横浜生糸商人と外国商館との騒動 があった。当時は、生糸の検査成績や値段 は外国商人の主導で決まるとともに、市況 が悪ければ取引を中止するなど外国商人の 言いなりだった。氏は、日本側と外国側と の協議に参画するなかで、「生糸荷預所」を 設立し、そこで検査・計量及び取引を行う とする公平な協定の成立に尽力した。また、 「益田孝」等と協力し荷預所に対して金融上 の便宜を図り応援した、としている(公益 財団法人渋沢栄一記念財団ホームページ)。

第3に、大正3年(1914)、欧州戦乱(第一次世界大戦)勃発の影響で、欧州向け 生糸輸出が滞り、蚕糸業が極度の苦境に陥 った際の尽力である。大日本蚕糸会では、 臨時蚕糸業大会を開催し対応を検討した。 氏は評議員として出席し、善後策に関する 決議事項の実行委員長に挙げられ、爾後の 対応において検討することとなった。また、 この臨時大会で「時局と生糸貿易」に関し 演説した。その中で、政府からの援助の必 要性はもとより、生糸生産の抑制策は必要 だが、養蚕農家が飼育を止めてしまうこと になれば、戦乱終息後の生産体制に影響す るとし、養蚕・製糸・政府そして銀行を含 め各方面の立場から最善策を検討すべきと 記している (会報第 274号 大正3年11月)。さらに、11月の第2回臨時蚕糸業大会 (第1日目)では、総理大臣大隈重信等と 共に来賓として出席し、「現下の時局に鑑み 欧米機業及び蚕糸業の状況視察の急務なる

を説き、調査員の派遣を提議」した。続い て12月の第2日目では、全国から産官民の 関係者 200 余名が参加する中、①蚕糸業金 融に関する件、②生糸定期取引に関する件、 ③欧米に視察員派遣の件について、実行委 員会を設け協議していくなどの取り纏めに 尽力した。大正4年には、生糸価格調整な どを目的とした「帝国蚕糸株式会社」の設 立に貢献するとともに、政府から500万円 の出金を得ている(中外商業新報 第10356 号他、会報第 279号・時局に対する経過報 告(第五))。そしてこのような対応策が功 を奏し、6月の帝国蚕糸株式会社評議員会で は「四月一日愈々(いよいよ)当社営業開 始の運びに至るや、市況は甚だ好影響を受 けて益々活躍し、依然連日海外注文の入電 絶えず」とまで回復したことを記している(会報 第 281 号 大正 4 年 6 月号)。

その他、外国との交流を通して蚕糸貿易 の進展に大きく貢献したこと、日本の文化・ 産業の面において数多の貢献をしたことを あげている。

なお、明治4年(1871)、宮中で御養蚕 を行うにあたり、氏は養蚕の知識・経験を 有する者として皇后陛下(昭憲皇太后)か らの質問に答えるとともに、姻戚である群 馬県佐波郡島村の田島武平をお世話役とし て推薦しており(日本蚕糸業史(1)宮中御 養蚕史)、現在も続いている皇后様による 宮中御養蚕の宮中行事にも尽力している。

本稿では蚕糸業に関わる功績をあげた。 銀行など500余の企業の創立、600余の 各種大学や養護施設などの設立の業績につ いては他の書籍等を参考にされたい。

恩賜賞

東京市 正三位勲一等子爵 澁澤 榮

良の議起り選まれて之が劃策の任に當り具に地方の蠶業状況を踏査し群馬慶應三年沸國に渡航し歐州の文物制度を視察して帰るや偶ゝ政府に生絲改

緊富岡の地を相して官立製絲所の設立を企畫し議容れられて洋式製絲場の 「製料」の
「関本」では、
「「「「「「」」では、
「「」」では、
「」では、
、

創設を見るに至れり之れ本邦にお於ける器械製絲の創始にして又模範たり

明治六年官を辞し第一國立銀行ヲ創立して其頭取となる之れ即ち第一銀行

絲貿易の進展に寄与せる所甚だ多し明治一四年横濱に於て内外生絲商間にの前身にして本邦銀行の濫觴たり茲に於て資金融通の便大に開け製絲及生

紛擾起るや進んで調停の勞を執り生絲荷預所の設立を促して取引の發達に然により

済の策を講じ克く其目的を達するに至らしめたるは當業者の深く銘記する資せり大正三年歐 州戦乱の勃発に際し蠶絲業の悲境に陥るや挺身之が救

所たり又常に意を國際通商に注ぎ或は訪英実業団の組織を提唱し或は渡米

に貢献し其他本邦の文化 並 産業の発達に貢献せる事績拳げて数ふべから実業団を組織して自ら其団長となり彼此當業者の交驩を図りて貿易の進展

大なり仍て本會功績表彰規則に據り恩賜賞を贈與し以て其功績を表彰すざるものあり其間直接又は間接に蠶絲業の負う所 頗 る多く其功績 洵 に偉

大日本蠶絲會総裁大勲位功二級 載 仁 親 王

図 2 恩賜賞 子爵 澁澤榮一 昭和 2 年(1927)大日本蚕糸会報第 36 巻第 424 号 6 月号

「カイコを育てよう! 2022」

全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン

人々にとって身近な存在であったカイコは、蚕糸業の衰退とともに目に触れる機会が少なくなっています。

こうした中で、各地の博物館で個別に行われている「カイコ、蚕種の配布」活動を横断的に連携し、かつて日本の産業を支えた蚕糸業を知ってもらうことを目的として、「カイコを育てよう! 2022」を実施します。

キャンペーン特設サイト URL https://silk-center.or.jp/kaiko2022/



イベント情報

新型コロナウィルスの感染拡大防止のため、各博物館では臨時閉館やイベントを中止している場合があります。詳細は各WEBサイトなどでご確認下さい。

●ジャパンシルクセンター

「SILK × 女子美 蚕からの贈り物」



SILK× 女子美

蚕からの贈り物

ワンコインワークショップ 「日本刺繍の糸撚り体験」 草木染ポーチ付き

2022年8月 1日(月)~ 7日(日) 10:00~18:00

(1日13:00~,7日~17:00)

主催:提携グループ "絹を未来に"

会場:ジャパンシルクセンター

貴重な純国産の絹糸を使用し、日本刺繍の魅力にあふれた ブローチや帯留、数寄屋袋等の小物を販売します。 感染対策を講じて,皆様のお越しをお待ちしております。

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 1F TEL:03(3215)1212 ※新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては中止になる可能性があります。 詳しくは HP をご覧ください。

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「桑・クワ・くわ ―その歴史とめぐみ―」

お蚕さまのえさである桑は、古来から、薬草などにも利用され、葉のみならず枝条、根茎までもが その対象でした。現在に至るまで、その植生や種類などさまざまな研究がなされています。書籍・資 料など今回初公開の収蔵品も含め、知られざる桑のワクワクする魅力を伝えます。ご期待ください。

〈会期〉 5月19日 (木) ~9月11日 (日) 9:00~17:00

休館日:水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489 https://silkfact.jp/

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「岡谷旅行案内 ~鳥瞰図で巡る糸都岡谷~」

大正の広重と呼ばれた鳥瞰図絵師吉田初三郎によって「岡谷市鳥瞰図」(昭和11年)が描かれまし た。世は観光ブーム。巧みな技法によって描き出された市施工年の岡谷のおすすめスポットとは? 当時の写真や資料と共にお楽しみください。

〈会期〉 9月15日 (木) ~12月20日 (火) 9:00~17:00

休館日:水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489 https://silkfact.jp/

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 夏休みこども展

「学ぼうカイコ」

「シルクの国語・算数・理科・社会」をテーマに、カイコや絹にまつわる様々なトピックスを学校の科目ごとに紹介し、こどもから大人までどなたにも楽しみながらカイコやシルクの魅力を親しんでいただきます。

〈会期〉 7月16日(土) ~8月29日(月) 9:30~17:00

休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

https://www.nippon-kinunosato.or.jp

●日本絹の里 企画展

「平安王朝の文化 ~よみがえる源氏物語の世界~」

『源氏物語』にみえる平安時代の雅な王朝文化の世界を、立体的に表現した展示でご紹介します。 1/4 サイズの寝殿模型による具現化展示のほか、美しい平安装束をはじめ、王朝文化を彩る料理や 楽器など、平安貴族たちの宮廷生活をご覧いただきます。

〈会期〉 9月8日 (木) ~11月7日 (月) 9:30~17:00

休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

https://www.nippon-kinunosato.or.jp

●駒ヶ根シルクミュージアム

第 15 回現代手織物クラフト公募展(2022 年秋の展示会)作品を公募します!

全国で独自の創作活動をしている織物のプロ、および将来プロを目指す方たちが創作した、独創的で優れた織物作品を展覧し、広く織物愛好家に向けて紹介するとともに、自立の道を拓く支援の場となることを目的とします。

*詳細はホームページでご確認ください。

〈応募受付〉9月1日(木)~9月5日(月)

〈展示開催〉10月20日(木)∼11月27日(木)

〈主催〉現代手織物クラフト公募展 実行委員会

〈会場〉駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ケ根市東伊那 482 番地

Tel: 0265-82-8381

https://komagane-silk.com E-mail: shiruku@cek.ne.jp

●シルク博物館

夏休み企画「かいこ教室」

かいこの種類や成長のようす、まゆや生糸、シルクの特徴などを楽しく学べます。 各体験で完成させたワークシートや作品は、夏休みの自由研究にも使えます。

〈会期〉7月30日(土)~8月14日(日) 9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館日:月曜日

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地2階

Tel: 045-641-0841

https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum

★子ども向けワークショップ

7月2日(土)まわた人形作り

8月27日(土)、9月24日(土)まゆ人形作り

9月18日(日)19日(月・祝)小さなシルクハンカチ染め体験

*予約制です。開催時間、参加費用など詳細はホームページでご確認ください。

★大人向けワークショップ

7月9日(土)、10日(日) 手作り真綿の講習会

7月16日(土)、9月3日(土) くみひもストラップ作り

9月25日(日)シルクスカーフ染め体験

*予約制です。開催時間、参加費用など詳細はホームページでご確認ください。

★実演

7月23日(土)、9月10日(土) 手作り真綿

8月20日(土) 真綿からの太糸作り

9月11日(日)手紬糸作り

*開催時間など詳細はホームページでご確認ください。

★学芸員によるギャラリートーク

9月17日(土)常設展示から解説

*開催時間など詳細はホームページでご確認ください。

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや― 岡谷蚕糸博物館 東京農工大学科学博物館連携展 「かいこのかみさま―ユニークな姿と切なる願い―」

会期: 2月17日(木)~5月15日(日)

開催報告:

蚕糸業の発展とともに広がりを見せた養蚕信仰の姿を養蚕道具や、養蚕技術書、蚕の守り神の掛け軸、御幣、岡谷市内の「蚕玉さま MAP」などを通して紹介しました。馬鳴菩薩や、衣笠信仰、蚕影信仰、猫神、七福神など、様々な養蚕の神々の姿は大変好評でした。東京都福生市にある永昌院にもご協力をいただき、ご住職より金色姫や、蚕影の御幣の作製を実演していただくなど、貴重な場面を目の当たりにすることができました。

シルク博物館 春の企画展 シルク博物館所蔵品展「紬のきもの」

会期: 4月23日(土)~6月5日(日)

開催報告:

シルク博物館では、所蔵品のなかから紬の着尺や着物など、およそ 65 点を一堂に展観する「紬のきもの」展を開催しました。紬は、その生産に高い技術と手間暇を要するため、現在では希少な高級品となっていますが、紬の魅力は丁寧な手仕事が生む温かさと素朴さにあるといえます。本展では、結城紬、久米島紬など日本各地の伝統的工芸品のほか、志村ふくみ、宗廣力三など人間国宝作家の作品をはじめ、現代作家の紬織着物を紹介し好評をいただきました。

群馬県立日本絹の里 特別展「桐生織の伝統工芸士展~伝統と創造~」

会期: 4月16日(土)~5月23日(月)

開催報告:

本展では、「桐生織」の七つの技法を紹介するとともに、桐生織の伝統工芸士の「匠」の技についてご覧いただき、伝統を守りつつ、新しいものにも挑戦し、後世に伝える取り組みについて紹介いたしました。

関連行事では、ルーペを使い、桐生織の技法で織られた生地を観察し、桐生織の伝統工芸士が解説する体験等も行い、伝統的工芸品である「桐生織」の素晴らしさについて改めて感じていただくことが出来ました。

駒ヶ根シルクミュージアム 第58回特別展「2022まゆクラフト作品」

会期: 4月21日(木)~5月24日(火)

開催報告:

全国の繭クラフト愛好家の応募作品を展示する「まゆクラフト作品展」を毎年開催していますが、15回目の今年もご好評をいただき閉幕しました。厳正な審査の結果、優秀作品には大日本蚕糸会会頭賞・長野県知事賞・駒ヶ根市長賞などが授与されました。応募作品の写真集と審査結果を図録として発刊しました(頒布価格 1,000 円)。繭クラフトが、養蚕・繭作りの伝統・文化を伝承するとともに、新たな繭の文化を創造することに、少しでもお役に立てればと考えています。

般財団法人大日本蚕糸会から

令和4年度貞明皇后研究助成採択一覧(7件)

貞明皇后研究助成とは?

本会は、蚕糸絹に関する科学技術の研究及び発明並びにその応用を助長し、蚕糸絹文化の 継承と蚕糸絹業の改良発達に寄与することを目的として、本会の総裁であられた貞明皇后の 御名を冠した研究助成を毎年度行っています。

今年度は、下記の7課題について採択をしました。(助成総額9,472,000円)

研究題目 及び 研究概要(申請時)	研究代表者	助成金額
① Enterococcus 属細菌の増殖を抑制する飼料 組成の解明と抗生物質無添加飼料の開発	農業·食品産業技術総合研究機構 上級研究員 平山 力	1,500 千円

カイコの人工飼料には、細菌病の予防のために抗生物質が添加されているが、耐性菌の出現に よりその使用が厳しく制限されるようになり、今後は抗生物質無添加の人工飼料が必要とされる ものと予想される。昨年度の研究により我々は細菌性軟化病の原因菌 Enterococcus munditii の 増殖を抑制するために必要な飼料条件等を明らかにしたので、今年度はその成果をさらに発展さ せ、抗生物質に代わる安全な天然由来の抗菌活性物質を添加した新たな人工飼料を設計し、飼育 実証試験を行う。

2	水耕栽培を利用したクワ遺伝資源の活用	信州大学	1,500 千円
	に関する技術基盤の確立	教授 松村 英生	1,500 十円

クワの水耕栽培によってその利用(食品や化粧品原料、新しい養蚕業への利用など)を展開す る上で課題となる種苗増殖の技術や用途に応じた品種の選定法について解決することを目的と した研究を行う。露地(屋外)で栽培されるクワ品種を水耕へ移植および増殖する技術を確立す ると共に、本学で保有する多様なクワ遺伝資源を中心とした複数品種について水耕栽培時の生長 評価や機能性成分、遺伝子発現などの生化学的特性を評価する基盤的な技術および条件の確立を 行う。

3	新規高フィブロイン繭の開発とその応用	京都工芸繊維大学	1,512 千円
	に関する研究	教授 小谷 英治	1,512 十円

カイコ絹フィブロインは、繊維利用に留まらず、医療用バイオマテリアルとして活用できる。 申請者は、セリシン発現の抑制により、高純度フィブロイン繭(高フィブロイン繭)を生産する 遺伝子組換えカイコを作出した。この繭を用いれば、フィブロインを得るための加熱・精練処理 コストを下げられ、素材加工法の幅が拡がる。本研究では、この繭からの未分解フィブロイン素 材の調製と加工、さらにその組織工学的応用について検討する。

④ クワコの蛹期間長期化能力の解明と新規 蚕品種および利用技術開発への応用

山口大学 教授 小林 淳

1,473 千円

申請者が 17 年間選抜・維持してきたクワコとカイコの雑種系統(蛹期間は最長 200 日以上)とクワコ染色体セミコンソミック系統シリーズを交雑して、蛹期間長期化の原因遺伝子(群)の座乗する染色体を網羅的に探索し、同定を試みるとともに、雑種系統における蛹期間不均一化に対するエピジェネティック制御の関与を阻害剤を用いて検証し、得られた知見を長期かつ均一な蛹期間を有する新規実用蚕品種のDNAマーカー育種ならびに多様な用途の創出に役立てる。

⑤ 食料利用に向けた蚕の栄養評価及び機能 性成分分析

群馬県蚕糸技術センター 技師 滝沢 俊介

1,500 千円

SDGs の観点から代替タンパク質源として、副産物である蚕蛹が注目を集めている。国内の蚕糸業では多様な生糸が求められるため、蚕蛹も品種別に産出されている。しかし、食料利用として蚕蛹の栄養成分・機能性はほとんど分析されておらず、品種毎に調査されていない。また、蚕を食料として利用する場合、幼虫についても検討する必要がある。本研究では蚕品種と加工方法の違いが栄養成分・機能性に与える影響について調査し、蚕の新しい価値を見いだす。製糸工場や養蚕農家の新しい収入源としての展開を図る。

⑥ 絹および繭を識別するためのデータベー ス構築と基礎情報の収集 農業·食品産業技術総合研究機構 主席研究員 梶原 英之

500 千円

生繭からマルセル石鹸処理した繭までのそれぞれの段階において、品種識別に使用する質量スペクトルデータベースの構築をする。また、実用品種についてはギ酸処理では判別困難なものが出てきたので、さらにトリプシン処理を行うことで可能とする。この時の厳密な反応条件を決定する。ギ酸およびトリプシン分析法について切断アミノ酸や修飾部位を明らかにすることで、迅速な繭・絹の品種判別法の基礎とする。

⑦ 分離細繊維の原因遺伝子の同定

学習院大学 助教 李 允求

1,487 千円

絹製品の品質低下につながる形質「分離細繊維(ラウジネス)」の原因遺伝子を順遺伝学的に同定することを目的とする。また分離細繊維を支配する遺伝子座と強く連鎖するマーカーを作成し、潜在的に分離細繊維を発生させうる系統とそうでない系統の簡便な識別方法を開発する。具体的には、分離細繊維を発生させる系統と、そうでない系統のゲノム DNA-seq・RNA-seq をおこない、それらを組合せ、マーカーの設計およびポジショナルクローニング解析に利用する。

貞明皇后研究助成の応募方法等の詳細は、本会ホームページの「貞明皇后蚕糸記念科学技 術研究助成」を参照してください。

■次回 令和5年度 貞明皇后研究助成 年間スケジュール (予定)

募 集 期 間	令和4年12月1日~令和5年1月31日	
選 考	令和5年4月下旬 蚕糸褒賞等選考委員会にて選考	
助成決定の通知	令和5年5月上旬	
研究助成実施期間	令和5年5月1日~令和6年2月28日	
助成金の支払い	令和5年5月下旬	
実績報告書の提出締切 令和6年3月1日		
助成金額の確定作業 令和6年3月上旬~中旬		
研究成果報告	令和6年4月下旬 蚕糸褒賞等選考委員会にて報告	

2022 年度第1次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの2022年度第1次審査委員会を2022年5月23日(月)に開催しました。 今回の申請は4者で、使用許諾されている5者のうち製品の追加1者1品目、履歴の追加4 者6品目、数量の追加1者2品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査し た結果、5者9品目に対し、5月30日(月)付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知 しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(株) 千總 代表者名:西村真一 (担当者:大月恵美) 〒 604-8166 京都市中京区三条通西入御倉町 80 TEL:075-211-2531	(履歴の追加) 後染反物 (振袖(五枚朱子))	40 反	製品名 後染反物(振袖) 繭生産 宮城県・福島県内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 美雲織物(株) 染色加工 自社
表示者登録番号 001	(製品の追加) 後染反物	60 反	製品名 後染反物 繭生産 宮城県・福島県内養蚕農家 製 糸 松岡(株) 製 織 美雲織物(株) 染色加工 自社
(履歴の追加) (株) 丸万中尾 代表者名:中尾浩祥 (担当者:中尾浩祥) 〒 526-0835 滋賀県長浜市室町 180番地 TEL: 0749-62-1660 表示者登録番号 028	後染反物 (江戸小紋・無地染)	30 反	製品名 後染反物 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 太田市・JA 利根沼田 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 南久ちりめん(株) 染色加工 (株) 一会
表示者登録番号 028	後染反物 (江戸小紋・無地染)	60 反	製品名 後染反物 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 太田市・JA 利根沼田 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 小林庸夫 染色加工 (株) 一会
	後染反物 (江戸小紋・無地染)	60 反	製品名 後染反物 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 太田市・JA 利根沼田 管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 羽賀織物 染色加工 (株) 一会

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量		生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) (株) ヤマノホールディングスきもの事業本部 代表者名:山野義友 (担当者:大岡政美) 〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-7 ヤマ/ 24 ピル 3F TEL: 03-3378-2984 表示者登録番号 225	後染反物(小紋)	35 反	製品名種 離製 製 製 染色加工	後染反物(小紋) 春嶺×鐘月 JA おやま管内養蚕農家 碓氷製糸(株) 足忠(有) むら田 室町
(履歴の追加) (株) やしま 代表者名:中須賀賢一 (担当者:中須賀賢一) 〒730-0042 広島市中区国泰町 1-3-15 TEL:082-543-2118 表示者登録番号 238	白生地(表地)	139 反	製蚕繭 製製精	白生地(表地) 錦秋×鐘和、世紀二一 JA はが野・JA 碓氷安中 管内養蚕農家 碓氷製糸(株) (株) アショネ 丹後織物工業組合
(数量の追加) (株) 髙島屋 代表者名:村田善郎 (担当者:大西隆寿) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL: 06-6631-1101	後染反物 (振袖(五枚朱子))	14 反	製品生 糸 製 色加工	後染反物(振袖) JA なす南管内養蚕農家 松岡(株) 篠春織物(株) (株) 千總
表示者登録番号 030	後染反物 (振袖(五枚朱子))	13 反	製品名 繭生 製 製 製 シ シ シ や 加工	後染反物(振袖) JA なす南管内養蚕農家 松岡(株) (株)竹林 (株) 千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日ま でに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2022 年度第 2 次: 2022 年 8 月 24 日 (水)

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日:2022年7月25日(月)

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会 担当:岡島、小林、廣瀬

TEL: 03-3214-3500 FAX: 03-3214-3511

E -mail:岡島:aokajima@silk.or.jp

小林: kobaei@silk.or.jp

廣瀬:hirose_takato@silk.or.jp

一般財団法人大日本蚕糸会から

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2022年5月30日 (2022 -第1次) 現在

表示者登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株)千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留 袖、喪服)、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染带地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染带地、先染反物(大島紬、 結城紬、御召、作家作品)、先染带地(織九寸帯、織角 帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八 掛、胴裏
012	河瀬満織物 (株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染带地
015	(株)結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有)絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地 (胴裏 (ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、 灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢 地、後染反物 (作家作品、紋付地)、白生地 (世紀二一, 上州絹星・ぐんま 200, 新小石丸)、後染帯地 ((冬物・ 夏物):うるし糸が 5 %を超えるもの)、寝衣 (うぶ着、 おくるみ)、和装小物 (袱紗)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物 (色無地、訪問着)、先染帯地 (袋帯 (草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯、袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)、先染反物(御召類)、後染反物(色無地)、先染帯地(袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)
027	(有)織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウォーマー、腹巻、 手袋、靴下))
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問 着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株) 髙島屋	大阪市中央区	後染反物(振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、 白生地(長襦袢地、胴裏)、ニット(靴下)、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物(黒紋付(冬用・夏用)、色無地)

表示者	V # 4	ar to like	→
登録番号	企業名	所 在 地	主な絹製品名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物(色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物(色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物(色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物(色無地、訪問着)、白生地(表地、胴裏、帯地)、白生地(表地(天蚕糸交織))、白生地(帯地(天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物(色無地、黒紋付)
038	(株) 桝屋高尾	京都市北区	先染带地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物(色無地、黒紋付)、白生地(表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物(色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳崇(染織家柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染带地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染带地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、 先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品(ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染带地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物(紋絽、絣)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染带地
050	山音(株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒絽))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物(有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和(株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染带地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物(色無地、黒紋付)
058	浅山織物(株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地(金銀糸が5%を超えるもの)、白生地(加賀友禅用)、先染着尺(加賀友禅用)、和装小物(帯揚)
060	田中種(株)	大阪市中央区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、 色無地、すかし織着尺)、後染帯地(九寸名古屋帯)、ニット(靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物(色無地)、胴裏(パールトーン加工)
		横浜市都筑区	後染反物(色無地、黒紋付)

表示者			
登録番号	企業名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
063	丸池藤井(株)	京都市中京区	後染反物(色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物(帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ(株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋(株)	京都市中京区	後染反物(訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川(株)	京都市下京区	和装小物(帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪((株) 紅輪 まるやま・京彩グループ)	川崎市宮前区	後染反物(色無地)、白生地(表地(紋意匠))
070	装いの道(株)	東京都千代田区	白生地(帯地、表地)、胴裏(トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 髙橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏(灰汁浸加工)、ニット(靴下)
073	(株)天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏(ぐんま 200(灰汁浸加工))、白生地(表地)
074	(株)きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏(酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの(株)	神奈川県厚木市	胴裏(酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株)荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏(酵素精練)、後染反物(小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株)登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株)川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、 紋意匠))
087	(株)大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地(胴裏、比翼地(振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株)あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品(ショール、マフラー)
090	藤井絞(株)	京都市中京区	後染反物(色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地(表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地(表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品(冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品(スーツ地、ネクタイ、服飾品(スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物(色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締(金銀糸が5%を超えるもの)
101	(株)猪井	新潟県長岡市	後染反物(色無地)、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物(色無地)、後染帯地

表示者	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
登録番号 103	 (株)丸富美	 新潟県十日町市	後染反物(色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物(色無地)
105	(株) 山正山﨑	愛知県豊橋市	後染反物(色無地、小紋(変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物(色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物(色無地、小紋(変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物(色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物(色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物(色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地(袋帯(金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯(金銀糸が5%を超えるもの)、絽九寸帯(金銀糸が5%を超えるもの)、絽九寸帯(金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール(天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物(色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏(酵素精練)、先染反物(結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物(黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物(色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物(色無地、江戸小紋)、白生地(表地)
120	宮崎(株)	茨城県結城市	先染反物(結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地(表地(色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維(株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物(色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物(色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物(小紋)、ニット(靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有)樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地(表地用(紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地(牛首紬)、後染帯地(牛首紬)、ショール(牛首 紬)、先染反物(飯田紬)、白生地着尺(信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物(帯揚、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物(小紋)
131	(資)山中商店	名古屋市中区	後染反物(小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物(小紋)
133	西川産業(株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竃市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物(小紋)
137	(株) 髙島屋呉服店	島根県益田市	後染反物(小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー(手織り)
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物(小紋)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名				
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物(小紋)				
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物(小紋)、ニット(靴下)				
142	五嶋(株)	東京都文京区	帯締				
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地				
144	(株)布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏(トルマリン加工)、後染反物(小紋(変一越、紋 意匠))				
145	(有)明石屋	東京都調布市	後染反物(色無地)、後染帯地				
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷				
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠)、加賀友禅)				
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物(色無地、小紋(変一越、紋意匠))				
149	(株)甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、 パジャマ、袱紗				
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
153	勝山織物(株)	京都市北区	先染帯地(金銀糸が5%を超えるもの)				
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物(型友禅、羽二重色無地)、先染反物(ジャガード織)				
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品(ショール)				
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物(小紋)				
159	(株) JS	山梨県富士吉田市	寝具寝装品(ふとん、ふとんカバー)、洋装品(スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、 服飾品(スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー)				
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地(胴裏)、和装小物(袱紗)、ネクタイ、帯地(白塩瀬)				
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物(小紋)				
162	福絖織物(株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)				
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地(表地)				
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地(表地)				
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品(布団、膝かけ)、服飾品(ショール)				
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))、ニット(靴下)				
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
174	(有)山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)				
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				

→ → →		1				
表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名			
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物(置賜紬)、服飾品(ストール)			
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物(大島紬)、先染帯地(大島紬)			
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地(八寸名古屋帯)			
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット(腹巻、靴下)			
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物(小紋(変一越))			
182	京呉服好一(株)	京都市北区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))			
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏(パールトーン加工)			
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))			
185	マテリアル ローブ 麿	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))			
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絣着尺)、後染帯地			
187	(株)三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地(表地)、帯締、羽織紐、帯締(金銀糸が5%を 超えるもの)、ジャケット地			
188	青山きもの(株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地(表地、夏物表地)			
189	ニット青木(株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)			
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織)、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛)、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))			
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))			
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物(小紋(変一越))			
193	アトリエITO 伊藤峯子	沖縄県那覇市				
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物			
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染带地			
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)			
197	(株)嵯が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)			
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品(ストール)、ネクタイ			
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物(ぼかし着尺)			
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地(紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物(本加賀訪問着)、先染反物(大島紬、御召)、先染帯地(袋帯)、先染反物(御召)			
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物(訪問着・色無地)、白生地(表地(紋意匠))			
202	メーカーズシャツ鎌倉(株)	神奈川県鎌倉市	ニット(肌着)			
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地(胴裏絹)			
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))			
205	富士新幸(株)	山梨県都留市	真綿布団			
206	(有)浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物(色無地・藍染)			
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地(変一越)			

	<u> </u>		T				
表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名				
208	(株)ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地(変一越)				
209	森秀織物(株)	群馬県桐生市	先染反物(御召)				
210	(株)龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地(本袋帯(金銀糸が5%を超えるもの))				
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物(小紋(変一越、紋意匠))				
212	(株)国際商事	東京都板橋区	ショール				
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))				
214	村江菊絵(菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染带地、先染反物				
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)				
216	村田捺染加工(有)	群馬県桐生市	服飾品(ストール)				
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物(訪問着、小紋、色無地)				
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物(首里織)、先染帯地(首里織)				
220	万兵(株)	名古屋市中区	白生地(表地)				
221	横山(株)	京都市中京区	後染反物(小紋・訪問着)				
222	(株)カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地(表地)				
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染带地				
224	(株)一声	京都市下京区	白生地(表地)				
225	(株)ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)				
226	山口美術織物(株)	京都市山科区	白生地(表地・羽二重)				
227	(株) 大醐	名古屋市北区	セリシン靴下、セリシン手袋				
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋				
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地(名古屋帯、袋帯(金銀糸が5%を越えるもの))				
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地(表地)				
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染带地 (名古屋帯 (組帯))				
232	ウライ(株)	京都市下京区	後染反物(小紋)、後染帯地(袋帯(表地のみ))				
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品(ニットストール)				
234	宮田織物(株)	京都市北区	先染帯地(袋帯(金銀糸が5%を超えるもの))				
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袈裟 (五条袈裟))				
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地(名古屋帯)、先染着尺(信州紬)				
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地(名古屋帯)、先染着尺(信州紬)				
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地(表地(紋意匠))				
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物(西陣お召)				
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地(表地(紋意匠))				
241	京都和装(株)	京都市下京区	白生地(表地(紋意匠))				
242	(株)前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品(スカーフ、ストール)				
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品(真綿ふとん(国産近江真綿ふとん))				
244	昭和西川(株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)				
245	大迫織物(株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)				
	l .						

-般財団法人大日本蚕糸会から

-般財団法人大日本蚕糸会活動日誌 No. 74 (R4.4.1 \sim R4.6.30)

月日	活動内容等
4/8	第 10 回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール審査会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
4/20	若手養蚕農家との意見交換会(WEB 会議)
4/22	第1回蚕糸褒賞等選考委員会(貞明皇后研究助成の選考、リアル・WEB 併用会議)
5/11	第 1 回蚕糸絹提携自立化支援事業審査会(リアル・WEB 併用会議)
5/13	第 10 回蚕糸絹業提携確立技術・経営コンクール表彰式 (東京都有楽町 蚕糸会館)
5/18	第 1 回シルクの普及検討会(全国シルクビジネス協議会の農林水産省 補助事業関係、リアル・WEB 併用会議)
5/23	純国産絹マーク審査会(リアル・WEB 併用会議)(2022 年度第 1 次)
5/25	第2回蚕糸褒賞等選考委員会(受賞者の選考・貞明皇后研究助成の完了報告、 リアル・WEB併用会議)
5/31	オーガニックシルク検討会(全国シルクビジネス協議会の農林水産省 補助事業関係、リアル・WEB 併用会議)
6/7	大日本蚕糸会通常理事会
6/23	大日本蚕糸会定時評議員会

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	₹	住 所	電話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町1丁目1-16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町1丁目1-87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道(ちどう)博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992-1 (群馬の森公園内)	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344‐1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地(敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館"紫 (ゆかり)"	376-0034	群馬県桐生市東4丁目2番24号	0277-45-3111
桐生織物記念館(桐生織物協同組合)	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6-6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター(セカイト)	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館(一般財団法人国際文化きもの学会)	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鑓水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	東京都八王子市子安町 4-7-1 サザンスカイタワー 3 階	042-622-8939

名称	₹	住 所	電話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市緑区田名 4853 番 2(大杉公園隣り)	042-761-7118
相模原市立博物館	252-0221	神奈川県相模原市中央区高根 3-1-15	042-750-8030
海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」	243-0405	神奈川県海老名市国分南 1-6-36	046-233-4028
一般財団法人繊維産業会レインボープラザ(愛川繊維会館)	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4410	046-281-0356
愛川町郷土資料館	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 5287 (県立あいかわ公園内)	046-280-1050
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜2丁目4番1号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸3番3号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ(株)内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田1丁目4番8号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財) 手織技術振興財団・織成舘	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884

名 称	₹	住 所	電話
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ(株)周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業(株)内	0772-72-0307
上垣守国(うえがきもりくに)養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502
アヤミハビル館	907-1801	沖縄県八重山郡与那国町与那国 2114	0980-87-2440

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省 http://www.maff.go.jp 経済産業省 http://www.meti.go.jp

【蚕糸絹業関係団体】

(一財)大日本蚕糸会 http://www.silk.or.jp

(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンターhttp://www.silk-center.or.jp(一社) 日本絹人繊織物工業会http://www.kinujinsen.com(一財) 日本真綿協会http://www.mawata.or.jp

丹後織物工業組合 http://www.tanko.or.jp 西陣織工業組合 http://www.nishijin.or.jp TAFS(東京織物卸商業組合) http://www.tafs.or.jp

KOMS(京都織物卸商業組合) http://www.fashion-kyoto.or.jp

(公財)京都和装産業振興財団 http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html

(一財) 伝統的工芸品産業振興協会 http://www.kougeihin.jp 蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会 http://takaraginu.com

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 http://www.naro.affrc.go.jp

(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html

(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫研究室 http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/life.html

(国)宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/

(国)東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室

http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html

(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 http://www.tuat.ac.jp/~kaiko (国) 東京農工大学工学部生命工学科 http://www.tuat.ac.jp/~seimei

(国) 名古屋大学農学部 http://www.agr.nagoya-u.ac.jp

(国)信州大学繊維学部 http://www.tex.shinshu-u.ac.jp (国)京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程 http://www.bio.kit.ac.jp

(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 http://muses.muses.tottori-u.ac.jp

(国)山口大学農学部生物資源環境科学科 http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html

(国)九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku

(国)九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野

http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html

群馬県蚕糸技術センター http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html 群馬県繊維工業試験場 http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html

京都府織物・機械金属振興センター http://www.pref.kyoto.jp/oriki (地独) 京都市産業技術研究所 http://www.tc-kyoto.or.jp (公財) 衣笠繊維研究所 http://krf-textile.com

(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 http://www.silk.or.jp

【学 会】

日本シルク学会http://jssst.sakura.ne.jp(一社) 日本蚕糸学会http://jsss.or.jp

日本野蚕学会 http://jswsmo.appspot.com

【博物館】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館 https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum 群馬県立日本絹の里 http://www.nippon-kinunosato.or.jp

愛媛県西予市野村シルク博物館 http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum

東京農工大学科学博物館 http://www.tuat.ac.jp/~museum

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム 織成館(京都市上京区) 高崎市染料植物園 群馬県立歴史博物館 岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや) はたや記念館ゆめおーれ勝山 美馬蚕糸館

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場 群馬県立世界遺産センター ぐんま絹遺産 上毛新聞社関連記事 http://komagane-silk.com/ http://orinasukan.skr.jp http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/201401140097 http://grekisi.pref.gunma.jp http://silkfact.jp http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan

http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/ http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

統計資料の年間掲載計画

<国内>	1月号	4月号	7月号	10月号
(1)蚕糸絹業の概要	0	0	0	0
(2)養蚕農家数	0	0	0	0
(3)繭生産数量の推移	0	0	0	0
(4)蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		0		
(5)蚕期別、都府県別繭生産数量		0		
(6)蚕品種別蚕種製造数量の推移		0		
(7)生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	0	0	0	0
(8)生糸の繊度別生産数量の推移		0		0
(9)絹需給の推移(生産量換算試算)	0	0	0	0
(10)品目別·二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		0		
(11)製糸工場の原料繭需給	0	0	0	0
(12)製糸工場の操業状況	0	0	0	0
(13)生糸在庫数量の内訳	0	0	0	0
(14)蚕糸関係品目別輸入状況		0		
(15)生糸の原産国別輸入数量		0		0
(16)絹糸の原産国別輸入数量		0		0
(17)生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		0		0
(18)絹織物生産数量	0	0	0	0
(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	0	0	0	0
<海外>				
(1)世界主要国の家蚕繭生産数量	0	0	0	0
(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量		0		
(3)中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	0	0	0	0

統計資料目次

< 国内.	>	
(1)	蚕糸絹業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	42
(2)	養蚕農家数の推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	43
(3)	繭生産数量の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44
(4)	蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5)	蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6)	蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7)	生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況 ・・・・・・・・・・・ 4	45
(8)	生糸の繊度別生産数量の推移	
(9)	絹需給の推移(生糸量換算試算)・・・・・・・・・・・・・・ 4	46
(10)	品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)・・・・・・・・・・・・	47
(11)	製糸工場の原料繭需給・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	48
(12)	製糸工場の操業状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	49
(13)	生糸在庫数量の内訳 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5	50
(14)	蚕糸関係品目別輸入状況	
(15)	生糸の原産国別輸入数量	
(16)	絹糸の原産国別輸入数量	
(17)	生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	
(18)	絹織物生産数量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5	51
(19)	丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量・・・・・・・・・・・・ 5	52
<海外)	>	
(1)	世界主要国の家蚕繭生産数量・・・・・・・・・・・・・・・・	53
(2)	世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3)	中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格・・・・・・・・・	54

※ No.73 (4月号) の (10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)の数値に 誤りがありました。

お詫びするとともに本号において修正し再掲載いたします。

- 資料・国内-

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item		養蚕業 cultural Ind	ustry		製糸業 Reeling Indu		絹業 Silk Fabric Industry		
暦年 Calendar Year	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人繊織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production	
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq.meters	
2000	3, 280	1, 244	379	9. 3	8	67	62. 9	32, 275	
2005	1, 591	626	393	2. 5	10	62	43.7	19, 816	
2010	756	265	351	0. 9	7	49	35. 9	3, 611	
2011	627	220	351	0. 7	7	52	34. 7	3, 152	
2012	571	202	354	0. 5	7	35	33. 3	2, 912	
2013	486	168	346	0. 4	9	35	32. 0	2, 940	
2014	393	149	379	0. 4	9	35	_	2, 734	
2015	368	135	367	0. 4	8	30	_	2, 316	
2016	349	130	372	0. 3	8	26	_	2, 243	
2017	336	125	372	0. 3	8	28	_	2, 195	
2018	293	110	375	0. 3	8	46	_	2, 113	
2019	264	92	348	0. 3	8	36	_	1, 939	
2020	228	80	351	0. 2	8	31	_	1, 214	
2021	186	61	328	0. 2	7	20	_	1, 279	
前年比(%) 2021/2020	81. 6	76. 3	93.5	100. 0	87. 5	64. 5	_	105. 4	

- 資料・2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
 - ・2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
 - ・2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。
 - ・2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人繊織物工業会調査である。
- (注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。
- (注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。
- Source: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 - National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)
 - Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
 The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)
 - The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric , before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2)養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位:戸) (Unit: number)

項 目 曆 年 Item Calendar Year	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晚秋蚕 Late autumn silk-worm
2000	3, 280	2, 970	2, 170	2, 700
2005	1, 591	1, 420	1, 061	1, 345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
前年比(%) 2021/2020	81. 6	78. 5	76. 0	83. 0

資料:農林水産省統計情報部(~2001年) 全国農業協同組合連合会(2002年~2004年)

農林水産省生産局(2005年~2008年)(一財)大日本蚕糸会(2009年~)

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (~2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002~2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005~2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009∼).

(3) 繭生産数量の推移

Cocoon Production

項目		年 Annual	計 total		1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm				
Item 暦 年	年間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	
Calendar Year	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	Early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg	
2000	1, 244	500	320	424	379	169	148	157	
2005	626	243	165	218	396	171	156	162	
2010	265	107	60	98	351	165	121	154	
2011	220	95	49	76	351	169	136	143	
2012	202	79	50	73	354	155	156	159	
2013	168	61	41	67	346	145	158	168	
2014	149	55	36	58	379	153	157	176	
2015	135	49	32	54	368	151	147	174	
2016	130	47	32	50	372	153	155	162	
2017	125	47	29	49	372	153	144	175	
2018	110	41	24	46	375	161	134	176	
2019	92	35	22	35	348	150	144	156	
2020	80	31	19	30	351	151	147	160	
2021	61	22	15	24	328	137	153	154	
前年比(%)	76. 3	71. 0	78. 9	80. 0	93. 5	90. 4	103. 9	96. 4	
2021/2020	70.0	71.0	70. 3	00.0	30. 0	30. 4	100. 9	JU. 1	
2021年	100. 0	36. 1	24. 6	39. 3					
構成比(%)				_					

資料:農林水産省統計情報部(~2001年) 全国農業協同組合連合会(2002年~2004年)

農林水産省生産局(2005年~2008年)(一財)大日本蚕糸会(2009年~)

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (\sim 2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002 \sim 2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005~2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009~).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

			生	糸 F	aw Silk		絹	糸		織物
項	目 Item	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数 量	期末在庫数 量	Silk 輸入数量	Yarn 輸出数量	Silk F 輸入数量	abrics 輸出数量
年 月	I LEIII	Produ-	Imports	Exports	Domestic	Ending	Imports	制山致里 Exports	Imports	期山致里 Exports
Year & Month		ction (A)	(B)	(C)	Deliveries (D)	Stocks (E)	(F)	(G)	(H)	(I)
暦 年		俵	 俵	 俵	 俵	 俵	 俵	 俵	1000SM	1000SM
Calendar Yea	r	Bales of 60kg							10000111	10000111
2015		378	6, 479	0	7, 194	1, 410	14, 051	302	5, 468	5, 085
2016		317	6, 548	0	6, 869	1, 406	12, 094	177	5, 207	4, 940
2017		339	7, 560	1	7, 557	1, 747	14, 560	245	4, 897	4, 785
2018		339	5, 038	1	5, 793	1, 330	11, 092	213	4, 151	4, 854
2019		269	4, 852	4	5, 018	1, 429	10, 920	165	3, 893	4, 750
2020		203	2, 443	0	3, 009	1, 066	6, 226	167	2, 551	3, 635
2021		160	3, 067	0	3, 425	868	6, 136	144	2, 753	3, 850
2020 -	1	20	549	0	588	1, 410	1, 178	15	341	275
	2	23	124	0	166	1, 391	303	41	139	378
	3	19	682	0	750	1, 342	962	37	262	398
	4	23	_	0	134	1, 231	662	15	233	307
	5	16	280	0	242	1, 285	854	10	244	223
	6	14	209	0	146	1, 362	422	3	169	227
	7	15	24	0	97	1, 304	283	11	256	268
	8	11	55	0	100	1, 270	249	4	121	239
	9	9	73	0	151	1, 201	308	4	214	333
	10	16	101	0	142	1, 176	215	7	181	346
	11	15	63	0	149	1, 105	305	11	247	333
	12	22	283	0	344	1, 066	487	9	146	308
2021 -	1	11	123	0	141	1, 059	428	6	273	286
	2	14	118	0	175	1, 016	504	4	199	299
	3	16	371	0	414	989	339	7	223	379
	4	12	5	0	121	885	451	5	253	363
	5	12	506	0	479	924	460	20	202	351
	6	13	178	0	200	915	619	13	251	377
	7	13	266	0	303	891	772	12	242	281
	8	12	244	0	234	913	585	9	188	198
	9	12	389	0	470	844	433	9	251	231
	10	14	219	0	236	841	451	14	216	390
	11	18	323	0	313	869	480	21	231	306
	12	13	322	0	336	868	614	24	218	390
2022 -	1	12	379	0	436	823	588	2	264	233
	2	8	222	0	199	854	484	32	162	316
	3	19	541	0	481	933	667	33	178	348
資料:(A)(C)(I	4	# 11 1. 40 11	— —	0	= # t+ ^ =	 び日本生糸間	412	30	214	355

資料: (A)(C)(D)(E)農林水産省生産局(~2010.3) 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会(2010.4~2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会(2018.11~) (B)(F)(G)(H)(I)財務省関税局

備考: 1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

- 2. kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。
- 3. (D) と (E) は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source: (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (~ 2010.3) , Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4 ~ 2012.11),

Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

 $Remarks: 1. Domestic deliveries (D) = \{Stock at end of the previous month + (A) + (B) \} - \{(C) + (E) \}.$

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移 (生糸量換算試算)

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位:千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目			供給	計 Supp	oly Tota	1 1				需要	更計 Den	nand Tot	al (2)=(1)-(4)		期末
Item		期初	生産	輸入 Import			輸 出 Export			内 需	在庫					
暦年 Calendar Year		在庫 Opening Stocks	Produc- tion	計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second		計③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second	Domestic Demand 2-3	Ending Stocks ④
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	171	45	0	126	3	6	6	111	126	24	0	0	8	16	102	45
前年比(%) 2021/ 2020	94	100		92	150	100	100	90	92	90	_	_	100	85	93	100

資料:蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考:2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(10) 品目別·二次製品輸入数量(生糸量換算試算)

Breakdown of Silk Second Products Imports (Raw Silk Value Estimation)

(単位:千俵)

(Unit:1,000 Bales of 60kg)

						(0111 6 1 , 0	JUU Bales of	001(8)
項目 Ite		2017	2018	2019	2020	2021	前年比%	
1 Le							y/y	ratio
	男子用外衣類	1.7	1.3	1. 5	1.1	0.8	72.7	0. 7
	Men's upper garments							
	女子用外衣類	81. 2	86. 7	85. 1	78. 4	69.3	88. 4	60. 5
	Women's upper garments							
_P	うちブラウス	0.9	0. 3	0. 7	0.6	0.8	133. 3	0. 7
Produ 布	Blouse of the inside	0.3	0.0	0. /	0.0	0.0	100.0	0. 1
布 duc		0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	100.0	1.0
+ -	男子用下着・寝具衣料	2. 2	0. 6	2. 3	1.8	1.8	100.0	1.6
nad <u>é</u>	Men's underwear· bedding cloth 女子用下着·寝具衣料							
٥ (女子用下着・寝具衣料	22. 1	23. 1	20. 5	20. 3	21.1	103. 9	18.4
, <u>P</u>	Women's underwear · bedding cloth							
製으	ハンカチ	0.3	0. 1	0. 2	0. 1	0.1	100.0	0.1
oth	Handkerchief							
	ショール、スカーフ類	1.4	0. 3	0.0	0.0	0.0	 	_
	Shawl. scarves	'''	0.0	0.0	0.0	0.0		
	ネクタイ類	10.5	1.4	6. 2	3. 3	3. 0	90. 9	2. 6
	Ties	10.0	'. '	0.2	0.0	0.0	00.0	2. 0
— ,	「リヤス、クロセス編物	11.1	3. 9	3. 6	3. 9	4. 4	112.8	3.8
		''. '	5. 9	3.0	5. 9	4.4	112.0	3.0
	nit.kurose knitting	14.0	10.7	14.1	11 [10.0	00.0	0.4
	一の他の洋装類	14.8	13. 7	14. 1	11.5	10.8	93. 9	9. 4
	ther western clothes							
	羊 装 類 計	145. 3	131. 1	133. 4	120. 3	111.4	92. 6	97. 3
W	estern clothes subtotal							
禾	〕装類計	13. 9	1. 2	0. 9	0. 9	0.9	100.0	0.8
J	apanese clothes subtotal							
	- うち絹製の帯小物等	12. 3	0.0	0.0	0.0	0.0	_	_
	Silk obi accessorys of the inside							
7	- の 他	2. 6	2. 9	2. 3	2. 0	2. 2	110.0	1. 9
0	thers							
	合 計	161.8	135. 2	136. 7	123. 2	114. 5	92. 9	100.0
	Total							
<u> </u>								

資料 : 財務省「日本貿易月報」

注):ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source: The Custums Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"

Note: Total may not added up due to round off.

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(Unit: Ton by fresh weight)

(単位:生繭.t)

	項目		 総 計	(Unit: Ton by Tresh Weight)
	Item		Grand Total	
年 月 Year & Month		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2021 2020 -	1	55 0	<u> </u>	67
2020 -	2	0	8	55
	3	0	7	47
	4	1	8	40
	5	0	5	35
	6	14	5	44
	7	12	5	51
	8	13	5	59
	9	3	3	59
	10	24	6	77
	11	5	6	76
	12	1	8	69
2021 -	1	0	4	65
	2	0	4	60
	3	0	5	54
	4	0	4	50
	5	0	4	46
	6	14	5	55
	7	6	5	56
	8	10	5	61
	9	3	5	59
	10	19	5	73
	11	4	7	70
	12	1	4	67
2022 -	1	0	4	62
	2	1	3	60
**************************************	3	0	7	53

資料:農林水産省生産局(~2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4~2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会(2018.11~)

備考:1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (∼2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010. 4~2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

Remarks: 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

	項 目 Item	運転工場数	設 備 Reeling	数(台) Machines	運 転 率 (%)	操業日数	従業者数
年月	\	Operating	運転可能			Days	Number
Year & Month		Reeling Mills	度報可能 Operable	Operating	Operating Ratio	Operated	of Workers
暦 年							
Calendar	Year						
2015		8	110	33	30	263	53
2016		8	110	29	26	267	55
2017		8	110	31	28	266	59
2018		8	74	34	46	253	57
2019		8	74	27	36	239	51
2020		8 7	74 74	23	31	218	48
2021 2020 -	. 1	7	74 74	15 32	20 43	214 19	43 50
2020 -	2	7	74	26	35	20	49
	3	7	74	27	36	22	49
	4	7	74	29	39	20	50
	5	7	74	27	36	15	50
	6	8	74	19	26	14	53
	7	8	74	17	23	22	52
	8	6	74	17	23	14	38
	9	6	74	15	20	19	37
	10	6	74	9	12	22	37
	11	7	74	27	36	14	48
	12	7	74	28	38	17	48
2021 -		6	74	16	22	14	38
	2	6	74	21	28	14	38
	3	6	74	21	28	18	35
	4	6	74	15	20	16	35
	5	6	74	13	18	15	35
	6	7	74 74	12	16	22	37
	7	7	74 74	12 7	16	22 17	37 37
	8 9	7 7	74 74	12	9 16	18	43
	10	7	74 74	12	16	22	43 44
	11	7	74 74	18	24	17	43
	12	7	74	16	22	19	43
2022 -		6	74	10	14	15	35
	2	6	74	14	19	14	35
	3	6	74	17	23	23	35
多型, 曲 H				口太什么問层协会			3.0

資料:農林水産省生産局(~2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4~2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12~2018.10)(一財)大日本蚕糸会(2018.11~)

備考:1.設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

- 2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。
- 3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (∼2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4~).

Central Raw Silk Association (2012. 12~2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11~)

Remarks: 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

- 2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.
 - 3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位:60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

計	製糸工場	生糸市場外 売買業者	生糸輸出 入業者
Total			Ex and Importers
	MIIIIS	Dealers	Tilipor Ler s
1, 410	94	1, 3	16
1, 406	130	1, 2	76
1, 747			
	168	93	
1, 066	178	88	
1, 059	182		
1, 016			
	Total 1, 410 1, 406 1, 747 1, 330 1, 429 1, 066 868 1, 410 1, 391 1, 342 1, 231 1, 285 1, 362 1, 304 1, 270 1, 201 1, 176 1, 105 1, 066 1, 059 1, 016 989 885 924 915 891 913 844 841 869 868 823 854 933	Total Total Filatures Mills	Total Filatures Mills Domestic Dealers 1,410 94 1,3 1,406 130 1,2 1,747 156 1,5 1,330 230 1,1 1,429 238 1,1 1,066 178 88 868 170 69 1,410 196 1,2 1,391 178 1,2 1,342 178 1,1 1,231 186 1,0 1,285 194 1,0 1,362 181 1,1 1,270 180 1,0 1,270 180 1,0 1,270 180 1,0 1,271 1,066 1,0 1,176 166 1,0 1,176 166 1,0 1,105 168 93 1,066 178 88 1,059 182 87 1,016 183 83 989 189 80 885 183 70 924 186 73 915 186 72 915 186 72 911 184 70 913 185 72 844 182 66 869 175 69 868 170 69 868 170 69

資料 : 農林水産省生産局(~2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4~2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12~2018.10) (一財) 大日本蚕糸会(2018.11~)

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (~2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010. 4~2012. 11).

Central Raw Silk Association (2012.12~2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11~)

(18) 絹織物生産数量 Production of Silk Fabrics

(単位:1,000m²)

(Unit: 1,000sq.meters)

	品 種				絹・絹紡絹	战物 Silk ar	nd Spun Silk	Fabrics		•
	Type of	総 数	Ţ.	5 巾織物	Double Widt		小巾絲	載物 Single	e Width	その他の
	Fabrics					先 練			先 練	後練(後染)
年 月		Grand	計	羽二重類	クレープ類	(先染)	計	ちりめん類	(先染)	Other Piece
Year &		Total	Total	Habutae	Crepe	Dyed	Total	Silk crepe	Dyed	Dyed Silk
Month						Yarn			Yarn	Fabrics
暦 年										
Calendar Y	ear									
2015		2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016		2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017		2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018		2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019		1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020		1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2021		1,279	839	586	9	244	298	90	208	143
2020		123	67	42	2	23	37	16	21	19
	2	122	63	43	2	17	40	19	21	19
	3	131	69	48	2	19	42	19	23	
	4	121	66	44	2	20	38	20	19	
	5	87	51	37	1	13	24	12	12	
	6	87	53	33	2	18	25	11	13	
	7	88	56	33	0	22	25	11	14	
	8	71	44	32	0	12	21	9	12	l
	9	85	48	35	0	13	27	13	13	
	10	90	52	36	1	15	27	12	15	
	11	101	63	38	1	24	28	12	15	
2004	12	108	65	37	1	27	29	12	17	
2021		90	56	38	1	18	25	9	16	9
	2	95	59	40	1	18	26	10	16	9
	3	98	57	43	1	13	30	10	19	12
	4	106	64	50	0	13	29	11	17	14
	5	109	71	48	1	22	27	11	16	11
	6	123	79	51	0	28	29	11	18	14
	7	109	69	52	1	16	29	10	19	10
	8	97	58	46	0	12	27	10	17	11
	9	111	70	53	1	15	29	11	18	13
	10	118	75	54	1	20	28	11	17	14
	11	131	89	54	1	34	29	11	18	13
2005	12	133	93	57	1	35	29	11	17	11
2022		104	71	51	0	19	22	7	15	12
	2	95	59	40	1	18	26	10	16	9
	3	124	87	66	0	21	24	6	18	13
咨 料 · (4	126	87 紫 仝 (~2020	70	0	17	25	6	19	15

資料 : (一社)日本絹人繊織物工業会(~2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8~)

備考: 1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 絹織物生産数量の数量は2018年~2021年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(~2020.6).Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8∼)

Remarks : 1. Spun and mixed fabrics included .Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. As for the production quantity of silk fabrics, data in the year between 2018 and 2021 have been corrected.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 Ite		絹織物生	生産数量	丹 後	Tango	長 浜	Nagahama	西陣	Nishijin
		Silk F			主地)	(白生		(‡	
			ction		Fabrics)	(White F		(Sa	
年月		数 量 Quantity	前年(月)比 Ratio to	生産数量 Production	前年(月)比 Ratio to	生産数量 Production	前年(月)比 Ratio to	推定出荷数量 Estimated	前年(月)比 Ratio to
Year &	`	(千㎡)	previous	(反)	previous	(反)	previous	Shipments	previous
Month	\bigvee (1, 000m²)	year	(Roll)	year	(Roll)	year	(本)	year
暦 年									
Calendar Year									
2015		2, 316	84. 7	351, 309	87. 8	41, 893	78. 8	526, 417	87. 6
2016		2, 243	96. 8	310, 271	88. 3	38, 063	90. 9	488, 144	92. 7
2017		2, 195	97. 9	294, 451	94. 9	36, 227	95. 2	477, 594	97. 8
2018		2, 113	96. 3	282, 158	95. 8	36, 316	100. 2	426, 796	89. 4
2019		1, 939	91.8	253, 429	89. 8	27, 584	76. 0	380, 224	89. 1
2020		1, 214	62. 6	154, 333	60. 9	10, 852	39. 3	260, 360	68. 5
2021		1, 279	105. 4	153, 627	99. 5	12, 321	113. 5	303, 511	116.6
2020 - 1		123	79. 3	15, 165	95. 7	1, 259	50. 2	24, 411	76. 5
2		122	71. 4	21, 802	87. 3	1, 707	61.3	26, 233	81. 7
3		131	80. 8	17, 996	82. 3	1, 792	65. 7	28, 783	83. 2
4		121	69. 4	18, 393	78. 9	1, 172	44. 8	20, 179	59. 7
5		87	49. 6	12, 661	85. 6	669	26. 5	11, 341	34. 2
6		87	52. 1	9, 326	36. 0	690	27. 3	21, 317	61.0
7		88	53. 9	8, 532	39. 9	361	15. 3	18, 561	65. 4
8		71	52. 6	7, 147	42. 0	613	33. 9	16, 344	57. 7
9		85	56. 9	10, 011	41. 1	451	20. 6	20, 505	60. 3
10		90	55. 1	10, 443	54. 4	645	32. 1	24, 142	85. 1
11		101	60. 5	11, 523	50. 1	874	47. 3	24, 658	82. 2
12		108	68. 9	11, 334	51.9	619	36. 9	24, 280	79. 1
2021 - 1		90	73. 3	9, 930	65. 5	773	61. 4	19, 619	80. 4
2		95	77. 5	11, 810	54. 2	910	53. 3	20, 969	81.0
3		98	74. 7	11, 526	64. 0	1, 129	63. 0	26, 690	92. 8
4		106	87. 5	14, 265	77. 6	755	64. 4	25, 705	129. 1
5		109	125. 0	11, 586	91.5	952	142. 3	24, 566	215. 7
6 7		123	141.4	13, 201	141.6	870	126. 1	29, 082	136. 5
		109 97	123. 2	14, 672	172.0	938	259.8	24, 811	133.7
8 9			136. 0	10, 040	140.5	1, 072	174. 9	24, 161	147.8
10		111 118	131. 0 130. 9	13, 545 15, 194	135. 3 145. 5	1, 092 1, 038	242. 1 160. 9	24, 360 26, 324	118. 8 107. 9
11		131	130. 9	13, 194	145. 5	1, 038	160. 9	26, 32 4 26, 748	107. 9
12		133	123. 2	14, 301	126. 2	1, 403	214. 7	29, 272	120. 9
2022 - 1	+	104	115. 2	10, 399	104. 7	983	127. 2	22, 277	113. 5
2		95	100. 0	12, 746	107. 9	982	107. 9	20, 744	98. 4
3		124	126. 9	12, 746	107. 4	863	76. 4	25, 113	93. 8
4		126	118.8	14, 948	104. 8	1, 111	147. 2	26, 693	101. 3
5		.20	110.0	11, 207	96. 7	1, 127	118. 4	23, 300	
	—————————————————————————————————————	*#1=1+/+	 :) 日本絹人繊織:						

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人繊織物工業会(~2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8~)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考: 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2.2018年~2021年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk &Rayon Weaver's Association(~2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8~)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by sheir local unions.

Remarks : 1. Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The data in the year between 2018 and 2021 have been corrected.

-資料・海外-

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区	分	2015年	2016年	2017年
		トン	トン	トン
日本	Japan	135	130	125
中国	China	628,000		
インド	India	151,787	155,688	161,684
ウズベキスタン	Uzbekistan	27,237		
イラン	Iran	12,538		
タイ	Thailand	4,881		
ブラジル	Brazil	2,870	2,913	2,995
ベトナム	Vietnam	2,515		
北朝鮮	North Korea	937		
トルコ	Turkey	75		
ブルガリア	Bulgaria	65		
インドネシア	Indonesia	57		
シリア	Syria	3.0		
主要国の計	Total	831,100	158,731	164,804

区分		2018年	2019年	2020年
		トン	トン	トン
日本	Japan	110	92	80
中国	China			
インド	India	185,560	185,143	169,345
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	3,024	3,034	
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	188,694	188,269	169,425

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、 ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕 委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture, however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(3)中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格 Spot Price of Various Silk Goods

2022年2月 平均 (month average)

				<u> </u>			011 04	7 01 ago/
区分	商品名称	規格	価格		価格幅(円/kg)			
(item)	(goods name)	(size)	(prid	ce rar	nge)	(price range)		
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	137.75	~	144.75	2,480	~	2,606
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	145.75	~	164.75	2,624	~	2,966
3	玉繭(double cocoon)		122.00	~	135.00	2,196	~	2,430
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	127.00	~	140.75	2,286	~	2,534
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	438.00 ~ 446.50		7,884	~	8,037	
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	444.25	~	449.50	7,997	~	8,091
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	428.25	~	439.00	7,709	~	7,902
8	玉糸(doupion silk)	110d	412.25	~	422.25	7,421	~	7,601
区分	商品名称	規格	価格幅((元/メ	(ートル)	価格幅	(円/)	/一トル)
(item)	(goods name)	(size)	(prid	ce rar	nge)	(pri	ce rai	nge)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	39.70	~	45.20	715	~	814
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	59.45	~	65.45	1,070	~	1,178
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	48.70	~	55.20	877	~	994
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	41.70	~	46.70	751	~	841

注:1元=18円 1CNY=18JPY

2022年3月 平均(month average)

区分	商品名称	規格	価格幅(元/kg)			価格幅(円/kg)		
(item)	(goods name)	(size)	(price range)			(price range)		
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	132.80	~	142.20	2,523	~	2,702
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	143.20	~	162.80	2,721	~	3,093
3	玉繭(double cocoon)		121.60	~	134.80	2,310	~	2,561
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	127.00	~	138.20	2,413	~	2,626
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	430.80 ~ 442.80		8,185	~	8,413	
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	434.80	~	446.20	8,261	~	8,478
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	430.20	~	442.60	8,174	~	8,409
8	玉糸(doupion silk)	110d	412.60	~	423.00	7,839	~	8,037
区分	商品名称	規格	価格幅(元//	(ートル)	価格幅	(円/)	(ートル)
(item)	(goods name)	(size)	(prid	e rar	nge)	(prid	ce rai	nge)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	39.22	~	44.72	745	~	850
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	58.90	~	64.90	1,119	~	1,233
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	47.92	~	54.52	910	~	1,036
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.82	~	45.92	776	~	872

注:1元=19円

1CNY=19JPY

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source: China Silk Exchange (Zhejiang Sheng Jia Xing)

2022年4月 平均 (month average)

				(Intolicit avolugo)			
商品名称	規格	価格幅(元/kg)			価格幅(円/kg)		
(goods name)	(size)	(price range)			(price range)		
乾繭(dried cocoon)	3A-4A	121.00	~	130.75	2,420	~	2,615
乾繭(dried cocoon)	5A-6A	133.00	~	152.50	2,660	~	3,050
玉繭(double cocoon)		111.00	~	121.75	2,220	~	2,435
キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	122.50	~	134.00	2,450	~	2,680
生糸(raw silk)	21d、工場検査	390.75 ~ 413.75		7,815	~	8,275	
生糸(raw silk)	21d、検験局検査	393.75	~	417.50	7,875	~	8,350
生糸(raw silk)	42d、工場検査	408.75	~	418.75	8,175	~	8,375
玉糸(doupion silk)	110d	404.50	~	414.50	8,090	~	8,290
商品名称	規格	価格幅(元/メ	ートル)	価格幅	(円/)	(ートル)
(goods name)	(size)	(prid	ce rar	nge)	(pri	ce rai	nge)
羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	38.88	~	44.38	778	~	888
サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	57.73	~	63.73	1,155	~	1,275
クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	45.88	~	52.88	918	~	1,058
クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	39.63	~	44.88	793	~	898
	(goods name) 乾繭(dried cocoon) 乾繭(dried cocoon) 玉繭(double cocoon) キビソ(frison) 生糸(raw silk) 生糸(raw silk) 生糸(raw silk) 五糸(doupion silk) 商品名称 (goods name) 羽二重(habutae) サテン(satin) クレープデシン(crepe de chine)	(goods name) (size) 乾繭(dried cocoon) 3A-4A 乾繭(dried cocoon) 5A-6A 玉繭(double cocoon)	商品名称 (goods name) 規格 (goods name) 3A-4A 121.00 乾繭(dried cocoon) 5A-6A 133.00 玉繭(double cocoon) 111.00 キビソ(frison) (自動機)automatic reel 122.50 生糸(raw silk) 21d、工場検査 390.75 生糸(raw silk) 21d、大場検査 393.75 生糸(raw silk) 42d、工場検査 408.75 玉糸(doupion silk) 110d 404.50 商品名称 規格 価格幅(goods name) (size) (pric 羽二重(habutae) 56吋(inch)8匁(mom) 38.88 サテン(satin) 45吋(inch)16匁(mom) 57.73	商品名称 (goods name) 規格 (size) (price rar 乾繭(dried cocoon) 3A-4A 121.00 ~ 乾繭(dried cocoon) 5A-6A 133.00 ~ 玉繭(double cocoon) 111.00 ~ 生だソ(frison) (自動機)automatic reel 122.50 ~ 生糸(raw silk) 21d、工場検査 390.75 ~ 生糸(raw silk) 21d、大場検査 393.75 ~ 生糸(raw silk) 42d、工場検査 408.75 ~ 生糸(raw silk) 42d、工場検査 404.50 ~ 玉糸(doupion silk) 110d 404.50 ~ 商品名称 規格 価格幅(元/メ (goods name) (size) (price rar 羽二重(habutae) 56吋(inch)8匁(mom) 38.88 ~ サテン(satin) 45吋(inch)16匁(mom) 57.73 ~ クレープデシン(crepe de chine) 45吋(inch)13.5匁(mom) 45.88 ~	商品名称 (goods name) 規格 (size) (price range) 乾繭(dried cocoon) 3A-4A 121.00 ~ 130.75 乾繭(dried cocoon) 5A-6A 133.00 ~ 152.50 玉繭(double cocoon) 111.00 ~ 121.75 キビソ(frison) (自動機)automatic reel 122.50 ~ 134.00 生糸(raw silk) 21d、工場検査 390.75 ~ 413.75 生糸(raw silk) 21d、検験局検査 393.75 ~ 417.50 生糸(raw silk) 42d、工場検査 408.75 ~ 418.75 玉糸(doupion silk) 110d 404.50 ~ 414.50 商品名称 規格 価格幅(元/メートル) (goods name) (size) (price range) 羽二重(habutae) 56吋(inch)8匁(mom) 38.88 ~ 44.38 サテン(satin) 45吋(inch)16匁(mom) 57.73 ~ 63.73 クレープデシン(crepe de chine) 45吋(inch)13.5匁(mom) 45.88 ~ 52.88	商品名称 (goods name) 規格 (price range) 価格 (goods name) 第 (size) (price range) (price range) (price range) を (pri	商品名称 (goods name) 規格 (size) (price range)

注:1元=20円 1CNY=20JPY

2022年5月 平均 (month average)

区分	商品名称	規格	価格I	/kg)	価格幅(円/kg)			
(item)	(goods name)	(size)	(prio	e rar	nge)	(price range)		
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	118.25	~	130.00	2,247	~	2,470
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	134.25	~	147.00	2,551	~	2,793
3	玉繭(double cocoon)		104.00	~	114.00	1,976	~	2,166
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	128.00	~	140.50	2,432	~	2,670
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	373.50	~	387.50	7,097	~	7,363
6	生糸(raw silk)	21d、検験局検査	379.75	~	391.00	7,215	~	7,429
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	387.50	~	397.50	7,363	~	7,553
8	玉糸(doupion silk)	110d	395.00	~	405.00	7,505	~	7,695
区分	商品名称	規格	価格幅(元/メ	ートル)	価格幅	(円/)	(ートル)
(item)	(goods name)	(size)	(prio	e rar	nge)	(pri	ce ra	nge)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	38.25	~	43.50	727	~	827
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	56.38	~	62.00	1,071	~	1,178
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	45.75	~	51.75	869	~	983
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	38.88	~	44.00	739	~	836

注:1元=19円 1CNY=19JPY ※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

http://www.silk-teikei.jp

シルクレポート 2022 年 7 月号 No.74 令和 4 年 7 月 1 日発行

編集/発行 一般財団法人大日本蚕糸会

〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL: 03-3214-3500 FAX: 03-3214-3511

URL: http://www.silk-teikei.jp

製本/印刷 株式会社正大印刷社